

## 1 東京都経済の姿

東京都における財・サービス及び本社の生産額 159兆1012億円に東京都における輸入額 6兆3807億円を加えた東京都財の総供給（＝総需要）は 165兆4819億円であり、わが国の総供給 1068兆6468億円の15.5%を占めている（図1）。

東京都における財・サービス及び本社の生産額は159兆1012億円で、東京都とその他地域の生産額を加えた日本全体の生産額 1011兆7914億円の15.7%を占めている。

この都内生産額に東京都における輸入額 6兆3807億円を加えた東京都財の総供給は 165兆4819億円であり、全国の総供給 1068兆6468億円の15.5%である。

一方、東京都財 165兆4819億円に対する需要をみると、55.8%（92兆2594億円）が生産に必要な原材料（中間需要）として東京都（27.4%）及びその他地域（28.3%）で使用されるとともに、44.2%（73兆2225億円）が家計等の消費並びに政府・企業の投資（最終需要）として同様に東京都及びその他地域で使用されている。

東京都地域における最終需要は、東京都財60兆669億円にその他地域から移入した13兆4099億円を加えた73兆4768億円である。このうち 2兆2640億円が普通貿易で海外に輸出されるため都内最終需要は71兆2128億円であり、これは国内最終需要額 536兆616億円の13.3%を占めている。

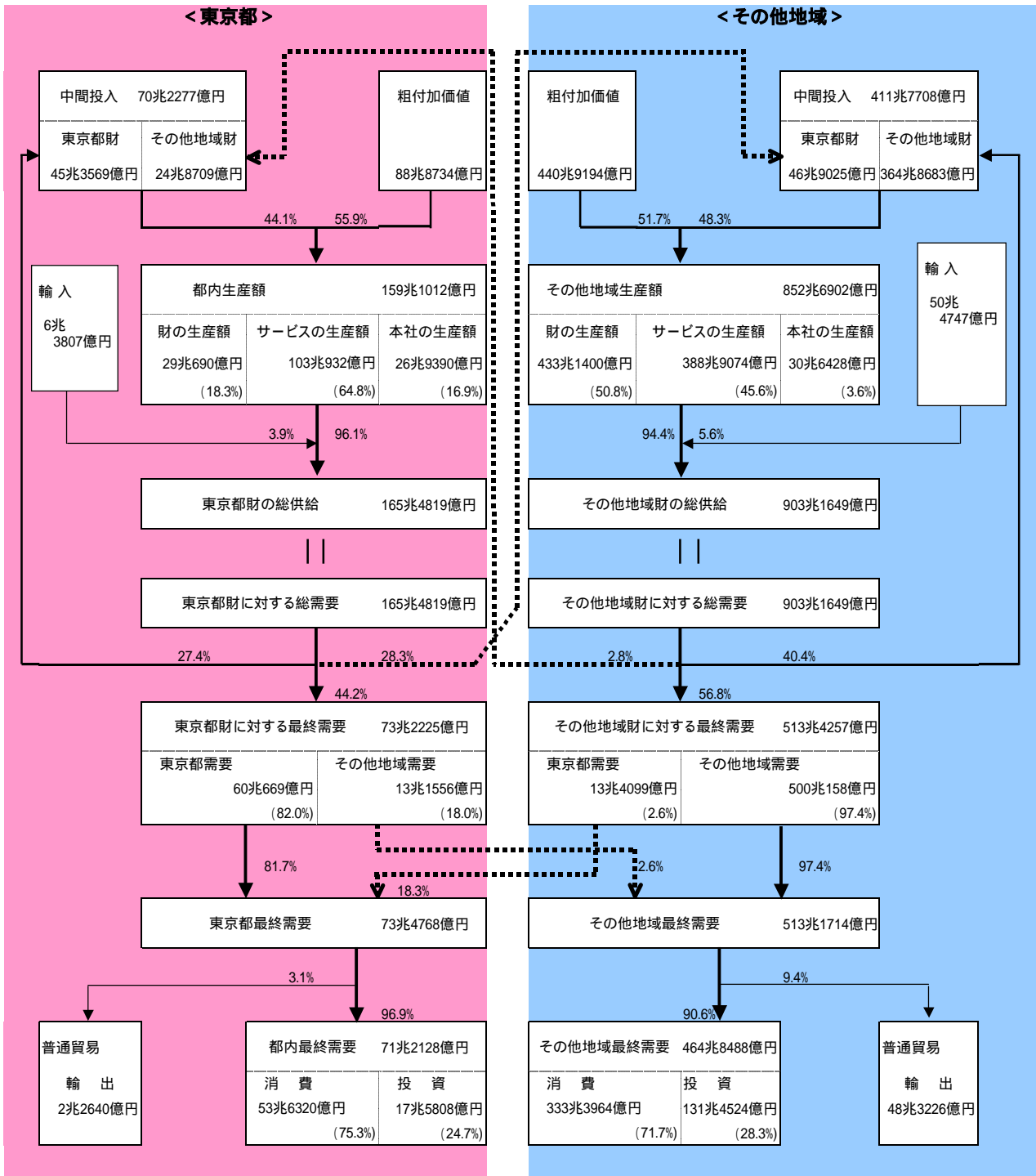
これらの状況を、1995年東京都産業連関表でみた東京の経済と比較すると、1995年を100とした場合、1997年の東京都における財・サービス及び本社の生産額は100.8であり、また、日本全体の生産額に占める割合は、15.9%から15.7%へ0.2ポイント減少している。これに、東京都における輸入額を加えた東京都財の総供給（＝総需要）は、同様に101.4となっており、全国の総供給に占める割合は15.7%で変化していない。

また、都内最終需要は1995年を 100とした場合、1997年は103.7とわずかに増加したが、国内最終需要額に占める割合は、13.6%から13.3%へ 0.3ポイント減少している。

### 【注】東京都財

「東京都財」とは、東京都において生産された財・サービス及び本社活動に、東京都において輸入された財・サービスを加えたものをいう。

図1 1997年東京都産業連関表による財・サービスの流れ



注1 上の図で→ 域内の財・サービスの流れを、-----> は地域間の財・サービスの流れ(移出・移入)を、——> は海外との間の財・サービスの流れ(輸出・輸入)を表す。

注2 財とサービスとに分けた場合、「財」とは、農林水産業、鉱業、製造業、建設及び電気・ガス・水道をいい、それ以外のものが「サービス」である。